



## 秋起こしでシカ対策！？

～冬場のエサを減らして、シカを減らしましょう～

稲刈りも落ち着き、朝晩すっかり冷え込んできました。  
圃場では来年の作付けに向けて秋起こしに取り組んでいらっしゃる様子を目にします。  
実は秋起こしにはシカの生育を抑える効果も期待できるのをご存知でしょうか？

### 秋起こしのメリット

さらに

#### 1. 土壌の地力向上、2. 保水力の向上、3. シカの生育抑制

なぜならば・・・

シカは出穂前の稲を好んで食べますが、2番穂(ヒコバエ)も大好物です。

皆さんも、冬場にシカが圃場に入ってヒコバエを食べている姿を目にしたことがあると思います。

このヒコバエをすき込むことによって、5月以降に出産時期を迎えるシカが、秋から冬にかけて、妊娠・出産に必要な栄養を十分に蓄えられなくなり、妊娠・出産の可能性を低くする効果が期待されます！

(参考) シカの発情期：9～11月、出産時期：5～7月



## 2番穂（ヒコバエ）の量

- ・ヒコバエは、放っておくと1反あたり約240kgになり、ヒコバエ以外の緑草も含めると1反あたり300kgにもなります。(※1)
- ・一方、シカは1日に約2～3kgのエサを食べますので、緑草の伸びた1反の圃場は、1頭のシカにとっては100～150日分のエサになる計算です！

来年のシカによる被害を少しでも減らすため、  
秋起こしに取り組んではいかがでしょうか？？



秋起こしのポイントは、  
中丹米振興協議会が発行している「米づくり情報 秋起こし編」をご確認ください。  
なお、稲わらを速やかに分解させるためには、秋起こしは稲刈り後早めに行うのが効果的です。

有害鳥獣対策に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

《発行元・お問い合わせ》  
舞鶴市農林水産振興課  
林業振興・有害鳥獣対策係  
電話 0773-66-1030

※1) 出典：「山と田畑をシカから守る おもしろ生態とかしこい防ぎ方」井上雅央・金森弘樹著